

バイオエネルギー及び副産物利用による循環可能性分析事業

【令和2年度予算概算決定額 17（0）百万円】

＜対策のポイント＞

バイオマス資源を原料とした発電・熱利用・自動車燃料やジェット燃料等のニーズ及び副産物の利用可能性の調査を行うことにより、アジア地域におけるバイオエネルギーの利用を核とした循環システムの構築に貢献します。

＜政策目標＞

アジア地域のエネルギーミックスにおける持続可能なバイオエネルギーの活用機会の増大

＜事業の内容＞

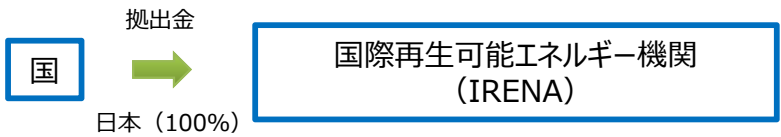
1. 課題・背景

- 我が国は、『バイオマス活用推進基本計画』、『地球温暖化対策計画』及び『持続可能な開発目標（SDGs）実施指針』の優先課題において、**再生可能エネルギーの導入と国際展開を積極的に進める**こととしております。
- 国際再生可能エネルギー機関（IRENA）がこれまで当省の拠出事業で行った調査・分析により、2030年までに世界の**再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大する**というSDGsの目標達成のためには、**農林業残渣の活用が非常に重要**であることが明らかになっています。また、東南アジア地域でのバイオマス原料の供給ポテンシャル調査が進められています。

2. 事業の内容

- アジア地域を対象に運輸、民生、産業分野別の**バイオエネルギーニーズ調査**及び**副産物の利用可能性調査**を実施し、**バイオエネルギーの利用を核とした循環システムの構築の実施可能性分析**を行います。

＜資金の流れ＞



＜事業イメージ＞

東南アジア地域において調査を実施

① バイオエネルギーニーズ調査



発電・熱利用・燃料ニーズ

② 副産物の利用可能性調査



副産物利用
(バイオガス生産時の消化液)

③ バイオエネルギーの利用を核とした循環システム構築の実施可能性調査



調査・分析



ワークショップ

活動のイメージ

期待される効果

- 国際的なバイオエネルギーの安定的な供給及び利用促進
- 我が国の研究機関等のバイオマス研究促進
- アジア地域の農村地域のエネルギー不足解消及び循環システムの構築に寄与
- バイオマス関連企業の投資活動の促進に寄与

【お問い合わせ先】（１）大臣官房海外投資・協力グループ（03-3502-5913）
（２）大臣官房政策課環境政策室（03-6744-2473）